

令和2年度 徳島県立図書館協議会

日 時： 令和3年1月19日（火）

午後1時30分から

場 所： 徳島県立図書館 3階 集会室1

1 開 会

2 館長挨拶

3 新委員自己紹介・職員紹介

4 会長・副会長選任

5 議 事

(1) 令和元年度事業実績について

(2) 令和2年度事業について

(3) 「徳島県立図書館サービス向上目標（第3期）」の推進状況について

(4) 「徳島県立図書館サービス向上目標（第4期）」の策定について

(5) その他

6 閉 会

徳島県立図書館協議会委員名簿

令和3年1月19日現在

氏名	職名
おもて 表 <small>ひじり</small> 聖 司	NHK徳島放送局長
こんどう 近 藤 <small>はるな</small> 春 菜	四国大学文学部 学生
すぎやま 杉 山 <small>えつこ</small> 悦 子	四国大学文学部 准教授
すずき 鈴木 <small>あやこ</small> 綾 子	徳島ペンクラブ 副会長・事務局長
なか 中 <small>ようこ</small> 洋 子	徳島県読書振興協議会 会長
はし 橋 <small>むら</small> 村 <small>ももえ</small> 百 恵	徳島県公立図書館協議会 理事(美波町日和佐図書・資料館長)
ひらい 平 井 <small>しょうご</small> 松 午	阿波学会 会長(徳島大学 名誉教授)
みのう 美 濃 <small>つぶら</small> 円	徳島県高等学校PTA連合会 副会長
よごう 余 郷 <small>ゆうじ</small> 裕 次	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 教授
よこやま 横 山 <small>たけふみ</small> 武 文	徳島県学校図書館協議会 副会長(坂野小学校長)

※ 五十音順、敬称略

座 席 表

— 入 口 —

傍
聴
席

資料・児童担当 課長補佐 中 火	資料・児童担当 課長補佐 立 石	調査相談担当 係 長 松 原	企画振興担当 係 長 小 松	企画振興担当 係 長 稲 垣	二十一世紀館 主任 新 原
--	--	--	--	--	---

資料・児童 課長補佐 田 村	調査相談 課長補佐 山 本	企画振興 課長補佐 宇 山	館 長 野々瀬	文化の森振興センター 副所長 東 條	副 館 長 三 月 田
--	---	---	--	--	--

横山 委員

○

余郷 委員

○

美濃 委員

○

平井 委員

○

○

橋村 委員

○

中 委員

○

鈴木 委員

○

近藤 委員

○

表 委員

副会長

会 長

(2) 令和2年度事業実施状況について

令和2年度 行事記録

○おもな集会行事

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
6月4日	第1回徳島県図書館職員研修会	講師： 山重 壮一氏 徳永 雅彦氏	講義：「図書館のミッションと戦略」 「徳島県復興指針と図書館における災害対応」	45
7月10日	第2回徳島県図書館職員研修会 (二十一世紀館イベントホール)	講師： 平田 泰子氏 加藤 啓子氏	講演：「公共図書館における多文化サービス」 「これまでとはちよっと違う、絵本の読み方・届け方」	53
7月19日 8月23日	図書館探検隊	児童担当	図書館の事務室・書庫など普段入れない場所を案内 小学3年生以上対象	11 17
7月25日	読書感想文にチャレンジ2020	児童担当	「本の選び方」「読み方」「書き方」の3段階をナビ	13
8月23日	夏のおはなし会	おはなし会ボランティアスタッフ	紙芝居や絵本の読み聞かせなど	17
8月29日 30日	ジュニアデジタルアーキビスト養成講習会(あわっ子文化大使) (二十一世紀館情報文化実習室)	坂井 知志氏 田山 健二氏 岡野 康完氏	小中学生を対象に地域の文化を記録する方法を学ぶ講習会を開催。坂井氏、田山氏はZoomでオンライン講義を行った。	20 17
9月19日 10月24日	30周年記念 あの素晴らしいレコードをもう一度	30周年ワーキンググループ	旧館時代に利用していたレコードの鑑賞会	5 5
9月22日	30周年記念講演会 (二十一世紀館イベントホール)	講師： 沖方 丁氏 (作家)	講演：「創作活動とデジタルアーカイブ」	109
10月9日	第3回徳島県図書館職員研修会 (二十一世紀館イベントホール)	講師： 塚本 章宏氏 服部 敦司氏	講義：「地理情報をインデックスとした記憶と記録のデジタルアーカイブ」 「読書バリアフリー法と図書館サービス」	46
11月3日	秋のおはなし会 (文化の森大秋祭り!!)	おはなし会ボランティアスタッフ	絵本の読み聞かせをはじめ、楽しいおはなしなど	20
12月6日	クリスマスおはなし会	四国大学幼児教育研究室	絵本の読み聞かせ、工作、クリスマス本の紹介など	35
12月26日	30周年記念 あの素晴らしいレコードをもう一度	講師： 石川 榮作氏	生誕250年ベートーヴェンを聴こう	13

4月21日 徳島県は「県外からの訪問を断るため、5月6日までの間、県有施設を休館」
4月22日～5月8日 部分開館

- おはなし会 毎月2回/赤ちゃんと楽しむおはなし会 月1回 6月再開
奇数月は「赤ちゃんと楽しむおはなし会&助産師さんとはなそう！」
- まなびの森講演会(放送大学徳島学習センターと共催) 9月再開
9/19 10/24 12/19 (1/16 2/13 3/13 予定)

令和元・2年度 展示事業

○企画展

場所：1階 展示ギャラリーほか

会 期	展 示 名
2020年 2月7日(金) ～4月19日(日)	「さまざまな言語の絵本の比較」 〈担当：児童〉
4月21日(火) ～6月7日(日)	「読んでみん？みんなのすすめる本 令和元年度とくしま子どものためのブックリスト100掲載本の POPとコメント受賞作品」展 県教育委員会募集 〈担当：児童〉
6月9日(火) ～8月2日(日)	「雑誌でたどる30年の流行」 〈担当：調査〉
8月4日(火) ～9月27日(日)	「図書委員が選ぶ、SDGsの本」 徳島県学校図書館協議会高校部会との共同展示 〈担当：企画振興〉
9月29日(火) ～11月23日(月)	「文化の森デジタルアーカイブ紹介展」 〈担当：郷土〉
11月3日(火) ～11月15日(日)	文化の森30周年記念共同企画展：徳島県立近代美術館1階ギャラリー 「文化遺産を後世に伝えるーとくしまデジタルアーカイブー」 〈担当：30周年WG〉
11月25日(水) ～2021年 1月24日(日)	「図書館タイムマシン」 〈担当：資料〉
2021年 2月5日(金) ～4月18日(日)	「ドイツの子どもの本」 〈担当：児童〉

展示のようす



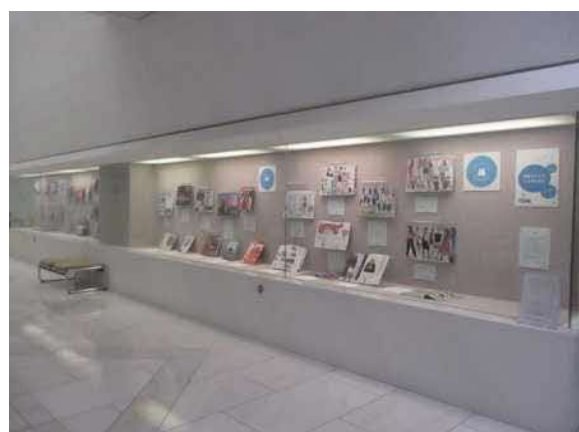
さまざまな言語の絵本の比較



図書館タイムマシン



図書委員が選ぶ、SDGsの本



雑誌でたどる30年の流行



文化の森開園30周年記念共同企画展「文化遺産を後世に伝えるーとくしまデジタルアーカイブー」



文化の森デジタルアーカイブ紹介展

令和2年度 ミニ展示

ミニ展示コーナー（検索コーナー横）

期間	テーマ
3/24～4/19	新年度を「新書」で！
4/21～5/17	没後30年 池波正太郎
5/19～6/14	情報通信月間
6/16～7/5	ミュシャとアール・ヌーヴォー
7/7～8/2	没後90年 コナン・ドイルと史上最高の推理小説100冊
8/4～8/30	徳島県男女協調週間（ときわプラザ紹介）
9/1～9/27	宇宙に想いをはせて
9/29～10/25	ジョン・レノンとビートルズ
10/27～11/23	ストップ！糖尿病
11/25～12/20	歳時記 12月
12/22～1/24	新年「新書」で！

しごと応援コーナー

6/19～8/19	危機に立ち向かおう！ービジネス現場の危機管理
8/21～10/14	しごとと繋げる！ 広報・営業特集
10/16～1/24	読むハローワーク お仕事小説展

郷土資料コーナー

3/17～5/10	活躍する徳島県人-2019年の出版物より-
5/12～6/17	自然を感じてー徳島の野鳥編ー
6/19～7/26	自然を感じてー徳島の滝編ー
7/28～8/30	阿波おどりー徳島の夏を感じてー
9/1～11/10	災害に備える 命と暮らしを守るために
11/11～12/27	絵図・地図を愉しむ

ブラウジングコーナー

7/1～7/31	藍推進月間
8/1～8/30	沖方丁先生
9/1～9/13	図書館マナーアップ
9/15～9/22	沖方丁先生
9/21～	電子書籍閲覧サービスKinoden
12/1～12/26	ベートーヴェン生誕250年

ブックトラックによるミニ展示

期間	テーマ
4/17～6/7	おうちを楽しもう！
6/9～7/5	手芸部！
7/7～8/2	夏ごはん！
8/4～9/6	もののけ先生
9/8～10/4	みゅーじっく
10/6～10/25	秋ごはん！
10/27～12/20	文化の森30周年「みゅーじあむ」
12/22～1/14	年末年始

こどもの本コーナー

○児童・毎月の企画展示

期間	テーマ
4月	教科書に出てくるおはなし
5月	未来に残したい平成の絵本
6月	かえるの本
7月	つめたい食べもの
8月	パンツの本
9月	宇宙
10月	手紙
11月	てぶくろ
12月	牛

○児童・ミニ展示

期間	テーマ
4/14～5/10	子どもたちの読書のために
5/12～7/5	ミッフィー65周年
6/30～7/7	たなばたの本
7/7～7/31	コナン・ドイル没後90周年
7/26～8/30	夏休みの自由研究・読書感想文
8/4～8/30	戦争&平和
9/1～10/4	リサとガスパール20周年
10/6～11/10	スヌーピーと仲間たち
11/10～11/29	ムーミン75周年
11/20～12/27	クリスマスの本
12/23～	生命保険協会徳島県協会寄贈図書

令和2年度 連携事業について

令和2年度11月末

令和2年度	回数	備考
まなびの森講演会	2	放送大学
文化の森4期イベント関係	4	おはなし会2回 図書館探検隊2日
まちのお薬相談室	1	徳島県薬剤師会
県政情報テラス	1	パブリックコメントほか
展示「図書委員がえらぶSDGsの本」	1	徳島県学校図書館協議会高校部会
徳島県男女協調週間	1	ときわプラザ
藍推進月間	1	
県立学校電子図書館事業	1	教育委員会学校教育課
計	12	

平成29年3月28日に、国立大学法人徳島大学、国立大学法人鳴門教育大学、徳島県及び徳島県教育委員会による図書館活動に関する協定を締結
令和2年度の連携実施事業として下記を実施

○リモートによる相互訪問研修（Teamsによる遠隔研修）

「図書館における新型コロナ感染防止対策」

県立図書館は、県立二十一世紀館情報文化実習室を会場に10名が参加

○鳴門教育大学附属図書館との相互貸借

令和2年度は、貸出187冊、借受5冊（令和2年11月末）

資料・児童担当関係

1. コロナ禍における部分開館から通常開館へ

コロナウイルス感染の拡大を防止するために部分開館とした。

(1) 部分開館

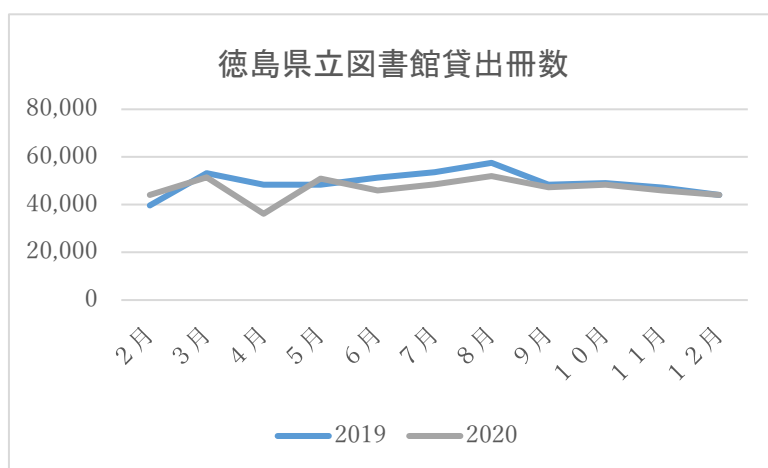
期間： 令和2年4月22日(水)～5月8日(金)

サービス内容： 電話とインターネットによる予約受付，事前予約本の受取，返却

*電話による予約が殺到し(365件)，Myライブラリの登録が増加した。

(2) 通常開館 令和2年5月9日(土)～

飛沫防止シールドパネルの設置，手指消毒液の設置，マスク着用のお願ひ，コロナ感染予防の注意喚起として各種広報の掲示を行うなど感染防止対策を徹底している。



*個人貸出冊数は、
2020年3月31日時点で全
国8位(うち、児童のみは7位)
となっている。
(「図書館雑誌」2020.8より)

*予約件数は昨年度4月～5月期と比較すると約2倍の予約件数となった。

2. 子どもの読書活動支援について

(1) おはなし会について

コロナウイルス感染予防の対策として，令和2年3月から5月までおはなし会を中止とした。

(中止)・ボランティアによるおはなし会 3/8, 3/22, 4/12, 4/26, 5/5

・赤ちゃんと楽しむおはなし会 3/12, 4/9, 5/14

*6月以降のおはなし会は，場所と開始時刻，参加人数などを従来から変更して開催。

〈ボランティアによるおはなし会〉

場所：こどもの本コーナーおはなしのへや→こどもの本コーナー中央フロア

開催時刻：第2・4日曜日の午後2時～2時30分→午後1時30分～2時

〈赤ちゃんと楽しむおはなし会〉

場所：こどもの本コーナーおはなしのへや→3階集会室1

参加申込：不要→8組まで。当日整理券を10時から発行。

(開催時刻は変更なし。第2木曜日10時30分～50分。奇数月は11時から助産師が

アドバイザーとして参加。)

演者はソーシャルディスタンスを取り、マウスガードやマスクの着用を義務付けた上で行っている。いずれのおはなし会も好評で、特に赤ちゃん連れの家族が安全で安心できる空間を探している状況が参加者からうかがえており、できるだけ不安を取り除きいつもの暮らしが継続できるための取組を行っている。

(2) ㊦ 「読書感想文にチャレンジ」

新たな取り組みとして、夏休みの7月25日(日)に「読書感想文にチャレンジ」を実施し、読書を愉しみ、その体験を文章に表現することで新たな発見をするなど読書することへの興味を引き出す機会となった。今後も読書支援につながる講座の開催を検討することとしている。(参加者：低学年 10名 高学年 2名 見学者 1名)

(3) ㊧ 子どもの本の充実

子どもの本の資料センター的機能を図るため、多様な資料の収集に努めており、「知の拠点」事業における子どもの本充実費200万円で、翻訳の外国語絵本・童話を中心に購入し、さまざまな言語に対応するため海外の秀作絵本(英語、中国語、韓国語)等も購入した。また新着本の読み物(文学)を紹介する書架を新たに設置し、利便性の向上を図った。

(4) ㊨ 子どもの読書研修会

絵本の読み聞かせを行っている人を中心とした研修会を2月16日(日)に鳴門教育大学名誉教授 佐々木宏子氏を迎え「大学図書館の中の児童図書室」と題し講演会を開催した。子どもたちの伸び伸びとした成長を育む子どもと絵本の関係について、また、「読み聞かせ」の新しい形として、作者自身による読み聞かせの実演例の紹介などがあった。

3. 文化の森開園30周年を機とする講演会と共同企画展

(1) 文化の森総合公園開園30周年記念 徳島県立図書館講演会「創作活動とデジタルアーカイブ」

文化遺産を後世に伝える方法として文化の森では、デジタルアーカイブ事業に取り組んでおり、当館では開園30周年を記念して作家の沖方丁氏を迎え、9月22日(火)「創作活動とデジタルアーカイブ」と題し講演会を開催した。(参加者：109名) 知識を体系化し誰もが容易にアクセスできることの重要性を再認識し、文化の継承のためにデジタルアーカイブが果たす使命について考える機会となった。

(2) 文化の森開園30周年記念共同企画展「文化遺産を後世に伝える」とくしまデジタルアーカイブ

11月3日(火)～11月15日(日)近代美術館1階ギャラリーにて文化の森各館の共同企画展を開催。図書館からは、かつての録音メディアである旧館時代のレコードの視聴ブースや江戸時代の徳島ガイドブック「阿波名所図会」などをデジタル画像で紹介した。来館者にとって、昔懐かしいレコードの音色を堪能するなど、時代と共に様変

わりする資料の変遷について興味深く閲覧していただくことができた。

また、令和2年11月25日（水）から令和3年1月24日（日） 企画展「図書館タイムマシン」を当館1階ギャラリーで開催し、創設から100年を越える徳島県立図書館の歴史や収集してきた資料の変遷等を展示した。

4. 読書バリアフリーについて

当館における障がい者サービスや多文化サービスの取り組みとしては、デジタル録音図書や大活字本、洋書などの購入のほか、各種手帳の交付を受けている方などに郵送貸出を行っている。今年度より電子書籍に音声による読み上げができる資料も閲覧可能となっており、今後も様々な方法で資料にアクセスできる機会を提供していく。

令和元年6月28日に読書バリアフリー法（「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」）が公布・施行され、県においても推進計画策定が予定されている。当館では、10月9日（金）の徳島県図書館職員研修会において枚方市立図書館 服部敦司氏に「読書バリアフリー法と図書館サービス」と題しリモートで講義を賜るなど図書館職員の研鑽を積んでいる。

調査相談担当関係

1. 電子書籍について

(1) 購入状況と閲覧件数

	タイトル数 (累計)	閲覧件数
平成30年度	483	1,344
令和元年度	954	2,918
令和2年4月	1,040	663
5月	1,086	971
6月	—	599
7月	—	1,130
8月	1,170	2,130
9月	1,248	928
10月	1,293	488
11月	1,522	528

都道府県立図書館として全国で4番目※に導入した電子書籍閲覧サービスは、令和2年度で3年目に入った。

※サービス継続中の館のみ

閲覧件数は順調に伸びており、平成30年度に比べ令和2年度は11月末時点で約5.5倍の閲覧件数になっている。令和2年度末までに累計約2000タイトルを購入する予定である。

コロナ禍での非来館やバリアフリーに対応可能なものとして公共図書館における電子書籍サービスの重要度を大きく押し上げ、昨年度まで全国の導入館は約90であったが、本年度だけでも40自治体ほど増える見通しで、来年度はさらに多くの自治体が導入するものと見られている。当館にも1月上旬までに都道府県立図書館からだけでも15館22件の問い合わせがあり、電子書籍への注目の度合いがうかがえる。このように特別なサービスであったものが当たり前のサービスへと移行しつつある。

(2) サービス対象者

今まで電子書籍の利用はMyライブラリサービスの登録者のみであったが、令和2年4月より市町村図書館等利用者の資料取寄せ依頼サービスの登録者にも広げた。

(3) 県立学校・電子図書館

新型コロナウイルス感染症禍の学校の臨時休業に伴い、児童生徒の「学習の遅れ」や「学びに対する意欲の低下」が懸念され、第2波、第3波に備えた学習環境整備についてオンライン教育の充実を図りたいとして教育委員会学校教育課から電子書籍閲覧サービス利用のための協力要請があった。

電子書籍が閲覧できることで「学力向上」や「家庭学習」等の支援をする「県立学校・電子図書館」事業に当館も協力。7月からの運用に間に合わせるため、県立図書館の貸出カード発行が不要な取寄せ依頼サービスのID・パスワード発行の仕組みで県立学校等の児童・生徒及び教員2万人

に電子書籍閲覧認証のID・パスワードを発行した。

2万人の若いユーザーが増えたことで中高生向けコンテンツを9月補正予算で購入中である。電子書籍から入って読書に関心を持ってもらい、一般の書籍にも広げてくれることを期待する。

(4) 評価

非来館や場所・時間を選ばないサービスが可能になった。新型コロナウイルスへの対応や、中高生の若い世代や遠隔地からの新たな利用者層の拡大につながった。

当館独自に22の分野別のリストを作成し、利用しやすくした。事典・辞典、図鑑、子育て関連、仕事関連のほか、ダイバーシティ関連、読み上げ機能対応、中高生向けなど。

(5) 今後の計画

- ・収集方針に基づいてコンテンツの充実をはかる。年間約400タイトルの購入を目標。
 - ①事典・図鑑類
 - ②一部を参照することにより身近な調べものに役立つ書籍
 - ③県民の関心事や地域の課題（仕事、健康、子育て、地域振興、災害など）を解決するために役立つ書籍
 - ④「県立学校・電子図書館」を意識した若い世代向けの書籍
- ・全文検索機能を生かした、調査研究や身近な調べものの普及
- ・非来館や読み上げ機能対応（令和2年1月1月開始 KinoDen 出版全点の1割）を利用した障がい者サービスへの新展開 既に分野別リストに「読み上げ機能対応資料」を掲載
- ・図書館システム更改に合わせ、電子書籍と紙資料の一元管理（統合検索）を実現

2. デジタルアーカイブについて

デジタル化した郷土関係や古書等を平成29年度からADECに掲載してきたが、令和2年5月には文化の森「とくしまデジタルアーカイブ」として文化の森各館が所蔵する貴重な資料をホームページで公開した。図書館からは絵図・地図、阿波国文庫、『阿波名所図会』などのデジタル化済み郷土関係や古書等256点を掲載している。今年度新たに阿波国文庫『万葉集略解』、吉野川絵図、吉野川改修計画図及び絵はがき254点をデジタル撮影した。

9月29日から11月23日まで「とくしまデジタルアーカイブ」を紹介する企画展を開催し、画像の拡大、回転、重ね合わせ、3D表示など、デジタル資料ならではの機能を紹介した。



とくしまデジタルアーカイブ／徳島県立図書館のトップ画面

また、地域の大切な資料、残したい物を記録し次世代に継承するために必要な正しい知識と方法・技術を身につける「ジュニア・デジタルアーキビスト養成講習会」を、中学生（あわっ子文化大使）対象に8月29日、30日に開催した。



ジュニア・デジタルアーキビスト養成講習会の様子

3月にはAIを活用したくずし字の翻刻プロジェクトを紹介する講座を開催する予定である。

*ADEAC（アデアック）

TRC-ADEAC 株式会社が制作・運営するデジタルアーカイブの検索・閲覧を行うためのクラウド型プラットフォームシステムで、全国の図書館や資料館が、自治体史や古文書をはじめとするアーカイブ資料を公開している。

(3)「徳島県立図書館サービス向上目標(第3期)」の推進状況について

サービス向上目標(第3期)数値目標一覧

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

評価判定用数値		平成26年度実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 全県民サービス	資料紹介展示回数	41	目標					50
			実績	55	64	67	64	39
	デジター図書等の所蔵点数	286	目標					400
			実績	350	382	412	436	457
② 県内図書館	県内公共図書館総貸出冊数	3,872,869	目標					4,200,000
			実績	3,907,910	3,832,796	3,823,601	3,742,305	
	研修参加者総数(累計)	440	目標					2,000
			実績	597	1,041	1,592	2,149	2,407
③ 専門情報支援	レファレンス件数	13,151	目標					16,000
			実績	11,386	10,606	11,693	11,061	6,854
	パスファインダー作成件数	21	目標					50
			実績	31	45	50	55	59
④ 保存図書館	郷土レファレンス公開件数(累計)	668	目標					1,000
			実績	764	842	950	992	
	児童書の貸出冊数	179,638	目標					185,000
			実績	203,498	219,133	219,220	221,072	144,671
⑤ 連携促進	連携事業総件数(累計) ※	32	目標					200
			実績	28	60	97	130	142

* 図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

①全県民へのサービス展開

<p>県立図書館は、県民が必要とする資料・情報が提供できる図書館として、仕事探しなどの課題解決への支援や子どもを取り巻く読書環境の充実、図書館利用に障壁を感じる多様な人々が共生する社会の実現に向けた環境整備を進めます。</p>						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
<p>a ライフステージに沿った資料収集とサービス提供 仕事・子育て・健康など、県民の暮らしの中で関心の高いテーマに関する資料を積極的に収集するとともに、県民が抱える課題解決に役立つ展示やコーナーの設置など、県民のライフステージに沿ったサービスを提供します。時宜に即した調査相談に対応できるよう参考図書（レファレンスブック）を収集します。</p>						→
	推進					
<p>b 子どもの読書活動の推進 幅広い児童書の収集や求める資料に出会える場の構築、豊富な保存資料と県内図書館のネットワークを活用したサービスの展開などにより、子どもたちに幅広い読書の機会が提供できる体制づくりを進めます。また、子どもの読書を支援する立場にある保護者を含めた大人を対象とした読み聞かせや調べ学習に役立つ資料や情報も提供します。</p>						→
	推進					
<p>c 図書館利用に障壁を感じる人を一人でも少なくする取り組み 障がいがある人や高齢者など、何らかの理由により図書館を利用しにくいと感じる人に対する理解を職員が深めるとともに、大活字本やデージー図書等の収集や分かりやすい館内表示などによる環境改善に努め、全ての県民に開かれた図書館を目指します。</p>						→
	推進					
数値目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資料紹介展示回数	目標	☆	☆	☆	☆	50
	実績	55	64	67	64	39
デージー図書等の所蔵点数（累計）	目標			☆	☆	400
	実績	350	382	412	436	457
取組実績						
<p>・県民の暮らしや地域社会の中で関心の高いテーマに留意して資料を収集。「しごと応援コーナー」「セカンドライフ応援コーナー」「子育て応援コーナー」を継続して設置。関連本をまとめることで資料を見やすく提供した。</p> <p>・子どもの本充実費を活用し、絵本、童話、児童文学の本等を選定。海外(中国・韓国)の絵本、海外児童文学賞受賞作品など洋書も充実させ、あわせて古くなった児童書の買い換えなどを行った。コロナ感染防止の対策として、既存のおはなし会の運営方法について見直しを行い、6月から本格的に再開した。初めての試みとして夏休みに「読書感想文にチャレンジ」する講座を開催し、豊かな読書活動を支援した。</p> <p>・デージー図書や大活字本を積極的に購入した。令和元年6月に「読書バリアフリー法」が施行され、今後も引き続き専用資料の充実に努めていく。</p>						

②県内図書館サービスの向上

県立図書館は、市町村立図書館への支援を第一に、高度化する情報社会への対応や職員研修の充実などにより、県内図書館サービスの向上に努めます。

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
<p>a 市町村立図書館への支援 市町村立図書館への協力貸出やレファレンスを充実するとともに、市町村立図書館と連携しながら、近年増加傾向にある調べ学習を県内学校図書館に支援するサポートサービスを開始します。</p> <p>b 図書館システムの充実 ICTの進展に伴い、スマートフォンなどの携帯端末の利用に対応したサービスへのニーズが高まるなど、高度な技術を活用した情報化への対応が求められています。このため、現行のとくしまネットワーク図書館システムやホームページを時期をみながら見直すなど、県民の利便性の向上に努めます。</p> <p>c 図書館職員の研修 図書館業務を取り巻く環境の変化に伴い、職員に求められる技術が多様かつ複雑になっていることから、スキルアップのための研修を充実するなど、県内図書館界の技術力向上に努めます。</p>	推進					→
	推進					→
	推進					→
数値目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
県内公共図書館総貸出冊数	目標	★	★	★	★	4,200,000
	実績	3,907,910	3,832,796	3,823,601	3,742,305	
研修参加者総数（累計）	目標				☆	2,000
	実績	597	1,041	1,592	2,149	2,407
取組実績						
<p>・県内公共図書館は、施設の老朽化や耐震化による休館・改築などが相次ぎ、貸出しは伸び悩んだ。吉野川市立鴨島図書館（令和2年4月開館）・阿波市立土成図書館（令和2年4月改築）は、コロナ禍で新規開館した。</p> <p>・研修会の開催が懸念されたが、集会室1・2で参加人数を絞っての開催や21世紀館イベントホールを使用しての開催、リモートでの開催など工夫をこらし、研修を重ねている。</p> <p>・電子書籍閲覧サービスの利用がMyライブラリサービス登録者のみであったのを、令和2年4月から市町村図書館等の取寄せ依頼サービス登録者にも広げた。</p>						

③専門情報支援サービスの提供

県立図書館は、豊富な所蔵資料と資料・検索技術に精通した職員の専門性を活かして、レファレンスサービス（本の検索、調べもの手伝い、研究に必要な文献調査などを行うこと。）を充実するなど、県内における調査・研究の情報拠点としての機能向上に努めます。

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
a 課題解決・行政支援 県民の暮らしや仕事に役立つ資料や情報、あるいは自らが地域政策に関わりやすくするための資料を適時提供します。また、県政情報をはじめとした様々な公共機関の情報提供を行うとともに、行政への各種調査・相談サービスを通して、地域が抱える課題の解決に向けた支援を行います。	推進					→
	推進					→
	推進					→
	推進					→
b 情報検索ツールの充実 県民からより一層利用される図書館を目指して、レファレンス事例データの登録や時宜に応じたパスファインダー（*）を作成するなど、図書館資料や情報に県民自らアクセスできる環境整備を進めます。						
c 県外図書館等との協力体制 県外の公共図書館・大学図書館及び国立国会図書館とのネットワーク拠点として、県民が求める資料を迅速かつ的確に提供できる体制づくりを目指します。						
数値目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
レファレンス件数	目標	★	★	★	★	16,000
	実績	11,386	10,606	11,693	11,061	6,854
パスファインダー作成件数（累計）	目標			☆	☆	50
	実績	31	45	50	55	59
<p>・電子書籍のコンテンツを充実させ（令和2年度末で約2000タイトルの予定）、時間や場所を選ばない特色を生かし、調査研究や課題解決のために役立つ資料へのアクセス機会を増やし、調べものをより身近にした。</p> <p>・レファレンス事例のデータベース化を進めてホームページ上に公開した。また、国立国会図書館が作成・運営しているレファレンス協同データベースにも登録し、調査研究のための情報提供を行った。</p> <p>・テーマ別図書リストやパスファインダーの書誌からリンクをたどって所蔵詳細画面へと飛べるような読書相談的検索機能を今年度中に図書館システムに追加する予定。</p>						

*パスファインダーとは、あるテーマに関する資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたもの。図書館で提供できる資料を主体に関連資料・情報を紹介している。

④ 県内資料・情報の保存図書館

県立図書館は、郷土資料の充実や所蔵資料のデジタル化による利便性の向上、図書館資料の保存・整備に努めながら、将来の利用を見据えた県の資料センターとしての機能を高めます。

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
a 郷土資料の収集 徳島県や県出身者に関する資料や地域の行政資料などを網羅的に収集し、後世まで伝えることのできる体制を整えます。また、Web情報のみで公開される逐次刊行物のプリントアウトやアクセス確保などにも取り組みます。	推進					→	
	b 郷土レファレンスの充実 郷土に関する調査相談の事例、地域の事項や人物のデータベースを充実し、これらをWeb上に公開するなどにより、県民の調査研究を支援します。	推進					→
	c 子どもの本の資料センター 子どもの読書支援や子育て支援のために、子どもの本を収集・整備した機関「子どもの本の資料センター」に向けた取り組みを進めます。	推進					→
数値目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
郷土レファレンス公開件数(累計)	目標				☆	1,000	
	実績	764	842	950	992		
児童書の貸出冊数	目標	☆	☆	☆	☆	185,000	
	実績	203,498	219,133	219,220	221,072	144,671	
取組実績							
・「徳島県文化の森総合公園／とくしまデジタルアーカイブ」の公開が令和2年5月から始まり、当館からは絵図や古地図、阿波国文庫および『阿波名所図会』などの郷土関係と古書256点を掲載した。 ・広く郷土資料の収集を行い、「自然を感じてー徳島の野鳥編・滝編ー」「絵図・地図を愉しむ」などのテーマでミニ展示を行うことで、郷土資料への関心を高めた。 ・豊かな読書環境づくりのため、通常経費に子どもの本充実費も合わせ、子どもの本の約8割の購入をめざす。子どもの読書習慣を育むため、乳幼児から高校生までの多様な感性に訴える幅広い児童書を整備して「子どもの本資料センター」的機能を充実。また、「子どもの読書と子育て応援」寄贈図書・雑誌募集事業により寄贈を受け、資料の補充に努めた。							

*「徳島県文化の森総合公園／とくしまデジタルアーカイブ」とは、図書館、文書館、博物館、鳥居龍蔵記念博物館及び近代美術館の各館が所蔵する貴重な資料を高精細画像でデジタル化し、ホームページで公開したもの。パソコンやスマートフォンなどの端末からアクセスし、拡大、回転、重ね合わせや3D表示など、デジタル資料ならではの機能で資料を閲覧することができる。

⑤様々な機関との連携促進

<p>県立図書館は、文化の森各館との連携はもとより、県内の行政機関・大学をはじめ様々な機関との連携をより一層深めることにより、これまで以上に幅広く事業展開ができるように努めます。</p>						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
<p>a 文化の森における連携 文化の森各館（博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居龍蔵記念博物館）との連携を一層強化し、魅力ある企画を共同で実施するとともに、広報活動等の強化も図ります。</p> <p>b 行政機関・大学との連携 行政機関や大学との連携をさらに深め、行政情報の開示や共同講座の開催などによるネットワークの強化に努めます。</p>	推進					→
	推進					→
						→
数値目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
連携事業総件数（累計）	目標				★	200
	実績	28	60	97	130	142
取組実績						
<p>・文化の森開園30周年を記念して、文化の森6館と公園管理を担当する(公財)徳島県建設技術センターとの共同企画展「文化遺産を後世に伝えるーとくしまデジタルアーカイブー」(令和2年11月3日～15日)を開催した。図書館は、かつての録音メディアで、近年でもその良さが愛される旧館時代のレコードの音色や図書館用品と共に、デジタル化した江戸時代の徳島ガイドブック『阿波名所図会』、貝原益軒が有馬温泉の入湯方法・名所を記した『有馬温泉記』を展示。のべ1311人の入館があった。</p> <p>・9月25日に「図書館における新型コロナウイルス感染防止対策」をテーマに、徳島大学附属図書館・鳴門教育大学附属図書館との、リモートによる相互訪問研修を実施、県立図書館からは、徳島県立21世紀館情報文化実習室を会場として、10名の職員が参加した。</p> <p>・県教育委員会学校教育課の要請により、県立学校等の中高生及び教員2万人にID、パスワードを発行し、電子書籍が閲覧できるよう「県立学校・電子図書館」事業に協力した。</p>						

徳島県立図書館サービス向上目標(第4期)の策定について

徳島県立図書館サービス向上目標(第3期) H28～R2年度

「県立図書館サービスの新たな展開」

行動指針

一人でも多くの人へ”図書館サービス”の提供を

基本目標	数値目標
全県民へのサービス展開 ・ライフステージに沿った資料収集とサービス提供 ・子どもの読書活動の推進 ・図書館利用障壁感じる人を一人でも少なくする取組み	資料紹介展示回数 R2 50回 デイジー図書等の所蔵点数 累計400点
県内図書館サービスの向上 ・市町村立図書館への支援 ・図書館システムの充実	県内公共図書館総貸出冊数 R2 420万冊 研修参加者総数 累計2,000人
専門情報支援サービスの提供 ・課題解決・行政支援 ・情報検索ツールの充実 ・県外図書館等との協力体制	レファレンス件数 R2 16,000件 パスファインダー作成件数 R2 50件
県内資料・情報の保存図書館 ・郷土資料の収集 ・郷土レファレンスの充実	郷土レファレンス公開件数 累計1,000件 児童書の貸出冊数 R2 185,000件
様々な機関との連携促進 ・文化の森における連携 ・行政機関・大学との連携	連携事業総件数 累計200件

第3期中の状況変化

○設立100周年
 知の拠点事業の一環で
 電子書籍閲覧サービス開始
 (H30年度)

○文化の森設立30周年
 デジタルアーカイブ公開
 (R2年度)

○COVID19の流行
 県有施設の休館
 図書館の部分開館
 新しい生活様式
 県立学校電子図書館

改めて考える当館の特徴

○県内各地へ貸出実施
 県民百人当たり個人貸出冊数
 77.8冊(R1・4位)
 協力貸出冊数 23,408冊
 (R1・13位)

○豊富な資料
 県民百人当たり蔵書数
 158.1冊(R1・3位)
 児童書の蔵書数196,825冊
 (R1・8位)

○非来館型サービスに対応
 電子図書館を使い易く
 リモートの持つ可能性

○図書館は県民の日常
 部分開館中の利用状況
 閉架では読みたい本がわからない
 部分開館明けの盛況

役割(運営方針)

徳島県の図書館ネットワークの中核
 全ての地域の県民のニーズや課題に生涯を通して応えていく
 県全体としての図書館サービスの向上

徳島県立図書館サービス向上目標(第4期) R3～7年度 素案

「新たな環境下の県立図書館サービス」

行動指針

県民の多様な”知りたい”に応え続ける

(基本目標) 目指す図書館の姿	数値目標
人と資料とをつなぐ図書館 ・すべての地域の県民へ提供 ・「とくしまネットワーク図書館」の充実 ・市町村立図書館への支援 ・他機関・団体との連携協力	県内公共図書館貸出冊数 5冊以上/人・年 協力貸出冊数(学校含む) 2万冊以上/年 電子書籍閲覧件数 累計6,000タイトル以上
探究心をサポートする図書館 ・レファレンス機能の強化 ・使い易いレファレンスツールの提供 ・他機関と連携したレファレンス ・仕事や暮らしの課題解決を支援	主催講演・講座参加者数 200人以上/年 レファレンス事例Web公開 50件以上/年
徳島を知って未来を創る人の図書館 ・郷土資料の収集・保存・活用から発信 ・郷土関係レファレンスツールの強化 ・徳島に関する調査研究推進 ・地域の課題解決を支援	郷土資料収集冊数 3,000冊以上/年 行政支援サービス件数 40件以上/年
読書を愉しみ心を育む人の図書館 ・多様な資料収集と紹介 ・子どもの本を網羅的に収集 ・子どもの読書環境整備と学校図書館との連携協力 ・読書バリアフリーへの取組み	資料紹介展示回数 70回以上/年 児童資料年間購入冊数 3,200冊(出版点数8割) バリアフリー図書収集点数 350点以上/年 入館者数 40万人以上/年